

## 2024年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社アンサーホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2994 URL <https://answerholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三谷 俊介  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 前田 啓美 TEL 093(953)9927  
 定時株主総会開催予定日 2024年9月30日 配当支払開始予定日 —  
 発行者情報提出予定日 2024年9月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年6月期の連結業績（2023年7月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	1,852	9.8	106	20.6	67	25.9	71	19.1
2023年6月期	1,687	15.1	88	—	53	—	60	—

(注) 包括利益 2024年6月期 70百万円 (4.5%) 2023年6月期 67百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	102.77	—	20.6	1.2	5.8
2023年6月期	86.29	—	21.0	1.1	5.2

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 ー百万円 2023年6月期 ー百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	5,632	393	7.0	561.62
2023年6月期	5,160	322	6.2	460.24

(参考) 自己資本 2024年6月期 393百万円 2023年6月期 322百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	240	△622	420	1,127
2023年6月期	219	△194	46	1,088

### 2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	中間	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2024年6月期	0.00	0.00	0.00	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—

### 3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,974	6.6	90	△15.2	52	△21.9	50	△30.4	71.52

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、中間期の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー 社（社名） ー、除外 ー 社（社名） ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年6月期	700,000株	2023年6月期	700,000株
2024年6月期	ー株	2023年6月期	ー株
2024年6月期	700,000株	2023年6月期	700,000株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、国内の企業活動や雇用・所得環境に改善の動きがみられ、さらに個人消費の持ち直し、インバウンド需要の回復などを背景として、国内景気が緩やかに回復へと向かいながら推移いたしました。しかしながら、長期化しているロシア・ウクライナ情勢による地政学的リスクを背景とした原材料価格やエネルギー資源価格の高止まりは続いており、国内物価上昇への影響をはじめ、中国経済の停滞、中東地域での紛争、世界的な金融引締めの影響など、さまざまな経済活動に影響を与える景気下振れリスクや金融市場の下振れリスク、政策動向による不確実性があり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、2023年末から2024年にかけて日銀が金融政策の修正を施したことを背景として、不動産市場が直面する借入金利も上昇に転じています。しかしながらその影響は、不動産市況を損なうには至っておらず、不動産市場への影響は軽微にとどまり景況は底堅く推移しました。

また、その一方で、日本は「アフター・コロナ」への移行を遂げましたが、物価の上昇に対して人々が生活防衛意識を緩めておらず、かつ世界経済も減速に向かう中、日本の景気回復のテンポは緩やかなものにとどまることで、不動産に対する床需要の拡大も鈍いペースにとどまる見込みです。

このような状況の下、当社グループでは、主に地域に密着した営業活動を展開するとともに、顧客開拓と販売用不動産の仕入に注力した結果、戸建住宅や集合住宅向けの不動産、及び販売用土地の売却が堅調に推移し、業績が伸長しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,852,096千円(前年同期比9.8%増)、営業利益は106,707千円(前年同期比20.6%増)、経常利益は67,165千円(前年同期比25.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は71,940千円(前年同期比19.1%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### <売買再販事業>

売買再販事業におきましては、SNS(ソーシャル・ネットワークキング・サービス)を利用した広告宣伝戦略の強化や地域密着型のポスティング戦略を通じて、反響獲得に注力するとともに、不動産の仕入強化にも力を入れ、再販事業の成約向上に努めてまいりました。

これらの結果、売買再販事業の売上高は908,799千円(前年同期比24.2%増)、セグメント利益は230,855千円(前年同期比10.6%増)となりました。

#### <賃貸管理事業>

賃貸管理事業におきましては、主力とする賃貸物件に関して比較的安定した賃料水準を維持しており、前連結会計年度と同様、入居率向上と滞納率の改善、賃貸収入の安定的な確保に努める一方で、相続相談やオーナー様向けの収益最大化に向けたセミナー等の実施を行ってまいりました。

これらの結果、賃貸管理事業の売上高は680,647千円(前年同期比0.8%増)、セグメント利益は195,236千円(前年同期比10.8%増)となりました。

#### <リフォーム事業>

リフォーム事業におきましては、売買再販事業との連携による中古住宅のリフォーム受注や、リフォームイベントを積極的に開催することで顧客獲得に繋げ受注を獲得してまいりましたが、件数が伸びず、売上高、セグメント利益ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、リフォーム事業の売上高は252,113千円(前年同期比6.1%減)、セグメント利益は35,190千円(前年同期比15.0%減)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて63,494千円減少し、1,359,174千円となりました。

これは主として、現金及び預金が38,815千円、未成工事支出金が6,199千円増加した一方、売掛金が5,776千円、販売用不動産が85,225千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて535,994千円増加し、4,273,741千円となりました。

これは主として、建物及び構築物が549,965千円、土地が163,812千円増加した一方、建設仮勘定が229,828千円減少したことによります。

以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて472,499千円増加し、5,632,916千円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて311,190千円減少し、929,222千円となりました。

これは主として、預り金が25,802千円増加した一方、買掛金が21,136千円、短期借入金が330,200千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて712,728千円増加し、4,310,564千円となりました。

これは主として、長期借入金が753,488千円増加した一方、社債が40,000千円減少したことによります。

以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて401,537千円増加し、5,239,786千円となりました。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて70,961千円増加し、393,130千円となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する当期純利益71,940千円を計上したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて38,815千円増加し、1,127,554千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は240,910千円（前年同期は219,460千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上80,231千円に加え、減価償却費の計上110,576千円、販売用不動産の減少額85,225千円等により資金が増加した一方、仕入債務の減少額21,137千円、未払消費税等の減少額10,965千円等により資金が減少したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は622,720千円（前年同期は194,663千円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出617,892千円等により資金が減少したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は420,626千円（前年同期は46,926千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入による収入942,000千円により資金が増加した一方、短期借入金の純減少額330,200千円、長期借入金の返済による支出149,804千円、社債の償還による支出40,000千円等により資金が減少したことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、2024年4月からの法改正により相続によって不動産を取得した方はその登記が義務化されました。また今後は住所変更時の登記も義務化されるなど、相続登記が義務化される事により行政指導を始め、建替え・再開発などのスピードがアップし、不動産業界にとってみればプラス要因も多くなると考えられます。一方で建築関連費の上昇はまだしばらくは続く見込みであり、新築住宅や新築分譲マンションの価格上昇にともない中古マンション価格も上昇するなど、新築物件価格の上昇は、少なくともしばらくは継続することは確実に、同様に中古物件価格も高止まりし続けると考えられます。

このような状況のもと、当社グループは、お客様サービスの向上ならびに販売商圏の拡大を図るとともに、企業価値の最大化を実現するために、地域社会への貢献と発展を目指してまいります。

これらを踏まえ、翌連結会計年度(2025年6月期)の当社グループの通期業績見通しにつきましては、売上高1,974百万円、営業利益90百万円、経常利益52百万円、親会社株主に帰属する当期純利益50百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向等を踏まえた上で検討していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,088,738	1,127,554
売掛金	42,138	36,361
販売用不動産	226,791	141,566
未成工事支出金	13,759	19,958
原材料及び貯蔵品	640	787
その他	50,868	33,211
貸倒引当金	△267	△266
流動資産合計	1,422,669	1,359,174
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,155,347	2,705,313
土地	1,221,624	1,385,436
建設仮勘定	232,245	2,416
リース資産(純額)	860	215
その他	17,491	20,929
有形固定資産合計	3,627,567	4,114,310
無形固定資産		
リース資産	555	—
その他	11,176	14,838
無形固定資産合計	11,731	14,838
投資その他の資産		
投資有価証券	57,732	56,184
繰延税金資産	1,517	6,252
その他	39,230	86,867
貸倒引当金	△32	△4,710
投資その他の資産合計	98,447	144,593
固定資産合計	3,737,747	4,273,741
資産合計	5,160,417	5,632,916

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当連結会計年度 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	59,839	38,702
短期借入金	597,700	267,500
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	145,660	184,368
リース債務	1,370	238
預り金	171,805	197,608
未払消費税等	28,606	17,641
未払法人税等	3,514	12,119
賞与引当金	4,675	5,340
その他	187,239	165,703
流動負債合計	1,240,412	929,222
固定負債		
社債	180,000	140,000
長期借入金	3,402,796	4,156,284
リース債務	238	—
その他	14,801	14,279
固定負債合計	3,597,835	4,310,564
負債合計	4,838,248	5,239,786
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金	204,676	276,617
株主資本合計	304,676	376,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,492	16,513
その他の包括利益累計額合計	17,492	16,513
純資産合計	322,168	393,130
負債純資産合計	5,160,417	5,632,916

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,687,300	1,852,096
売上原価	814,311	938,272
売上総利益	872,988	913,824
販売費及び一般管理費	784,471	807,116
営業利益	88,517	106,707
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	0	3,003
助成金収入	2,370	400
補助金収入	—	3,320
受取保険金	1,605	810
消費税等差額	825	566
その他	1,587	1,635
営業外収益合計	6,399	9,746
営業外費用		
支払利息	39,624	42,035
貸倒引当金繰入額	—	4,710
その他	1,960	2,543
営業外費用合計	41,584	49,288
経常利益	53,331	67,165
特別利益		
固定資産売却益	9,407	—
受取保険金	18,257	—
保険解約返戻金	—	15,010
特別利益合計	27,665	15,010
特別損失		
固定資産除却損	—	1,944
災害による損失	16,500	—
特別損失合計	16,500	1,944
税金等調整前当期純利益	64,496	80,231
法人税、住民税及び事業税	3,514	13,025
法人税等調整額	581	△4,734
法人税等合計	4,096	8,290
当期純利益	60,399	71,940
親会社株主に帰属する当期純利益	60,399	71,940

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益	60,399	71,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,516	△978
その他の包括利益合計	7,516	△978
包括利益	67,916	70,961
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	67,916	70,961

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本			その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	100,000	144,276	244,276	9,975	9,975	254,252
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益	—	60,399	60,399	—	—	60,399
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	—	—	—	7,516	7,516	7,516
当期変動額合計	—	60,399	60,399	7,516	7,516	67,916
当期末残高	100,000	204,676	304,676	17,492	17,492	322,168

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本			その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	100,000	204,676	304,676	17,492	17,492	322,168
当期変動額						
親会社株主に帰属する当期純利益	—	71,940	71,940	—	—	71,940
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	—	—	—	△978	△978	△978
当期変動額合計	—	71,940	71,940	△978	△978	70,961
当期末残高	100,000	276,617	376,617	16,513	16,513	393,130

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	64,496	80,231
減価償却費	108,529	110,576
賞与引当金の増減額 (△は減少)	600	665
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	37	4,677
受取利息及び受取配当金	△10	△3,013
支払利息	39,624	42,035
助成金収入	△2,370	△400
補助金収入	—	△3,320
受取保険金	△19,862	△810
保険解約返戻金	—	△15,010
固定資産売却益	△9,407	—
固定資産除却損	—	1,944
災害による損失	16,500	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,384	5,777
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△12,736	85,225
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,254	△21,137
未払消費税等の増減額 (△は減少)	21,573	△10,965
その他	33,385	△16,079
小計	240,230	260,396
利息及び配当金の受取額	10	3,013
利息の支払額	△41,609	△37,619
助成金の受取額	2,370	400
補助金の受取額	—	3,320
保険金の受取額	19,862	810
保険解約金の受取額	—	15,010
法人税等の支払額	△1,402	△4,420
営業活動によるキャッシュ・フロー	219,460	240,910
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△233,681	△617,892
有形固定資産の売却による収入	33,339	—
無形固定資産の取得による支出	—	△5,367
敷金及び保証金の回収による収入	5,050	539
その他	628	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194,663	△622,720
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	250,200	△330,200
長期借入れによる収入	—	942,000
長期借入金の返済による支出	△159,000	△149,804
社債の償還による支出	△40,000	△40,000
リース債務の返済による支出	△4,272	△1,370
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,926	420,626
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	71,724	38,815
現金及び現金同等物の期首残高	1,017,014	1,088,738
現金及び現金同等物の期末残高	1,088,738	1,127,554

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「売買再販事業」、「賃貸管理事業」及び「リフォーム事業」の3事業を報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントに属するサービスの種類

「売買再販事業」は、不動産売買仲介業及び販売用不動産購入後、付加価値を高め売却する自社不動産売買業を行っております。また、「賃貸管理事業」は、不動産賃貸仲介業、不動産オーナーの賃貸管理業務を代行する不動産賃貸管理業、自社不動産賃貸業を行っております。さらに、「リフォーム事業」は、住宅のリフォーム及びリノベーションを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。また、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	売買取販 事業	賃貸管理 事業	リフォーム 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	731,869	675,035	268,410	1,675,314	11,985	—	1,687,300
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	731,869	675,035	268,410	1,675,314	11,985	—	1,687,300
セグメント利益	208,720	176,207	41,389	426,317	9,459	△347,259	88,517
セグメント資産	247,044	3,197,693	36,587	3,481,324	20,138	1,658,954	5,160,417
その他の項目							
減価償却費	888	97,246	234	98,369	2,526	7,632	108,529
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	—	233,681	—	233,681	—	—	233,681

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コインランドリー業務、保険代理店業務等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- ① セグメント利益の調整額△347,259千円は、主に各報告セグメントに配分しない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- ② セグメント資産の調整額1,658,954千円は、各報告セグメントに配分しない全社資産であります。全社資産は主に現金及び預金、本社管理部門にかかる有形固定資産及び投資有価証券等であります。
- ③ 減価償却費の調整額7,632千円は、各報告セグメントに配分しない全社資産に係る減価償却費であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	売買再販 事業	賃貸管理 事業	リフォーム 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	908,799	680,647	252,113	1,841,560	10,535	—	1,852,096
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	908,799	680,647	252,113	1,841,560	10,535	—	1,852,096
セグメント利益	230,855	195,236	35,190	461,282	8,754	△363,329	106,707
セグメント資産	180,653	3,687,955	18,216	3,886,825	14,481	1,731,610	5,632,916
その他の項目							
減価償却費	525	104,582	201	105,308	1,780	3,486	110,576
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	113	623,228	—	623,342	—	136	623,479

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コインランドリー業務、保険代理店業務等を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- ① セグメント利益の調整額△363,329千円は、主に各報告セグメントに配分しない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- ② セグメント資産の調整額1,731,610千円は、各報告セグメントに配分しない全社資産であります。全社資産は主に現金及び預金、本社管理部門にかかる有形固定資産及び投資有価証券等であります。
- ③ 減価償却費の調整額3,486千円は、各報告セグメントに配分しない全社資産に係る減価償却費であります。
- ④ 有形固定資産及び無形固定資産の調整額136千円は、各報告セグメントに配分しない全社資産に係る有形固定資産であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
1株当たり純資産額	460円24銭	561円62銭
1株当たり当期純利益	86円29銭	102円77銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	60,399	71,940
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	60,399	71,940
普通株式の期中平均株式数(株)	700,000	700,000

## (重要な後発事象)

## (1) 資金の借入及び借入金の返済

当社は、2024年7月26日開催の取締役会決議に基づき、当社連結子会社の株式会社アンサー倶楽部において、次のとおり資金の借入及び借入金の返済を実行しております。

## 借入の内容

1. 資金の用途 土地の取得
2. 借入先 株式会社西日本シティ銀行
3. 借入金額 168,000千円
4. 利率 0.9%
5. 借入実行日 2024年7月31日
6. 借入期間 6か月毎の更新
7. 担保資産 不動産
8. 保証 無

今後、当該土地上に建物等の建設を予定しており、本建物等が完成後に長期借入金に切替いたします。

なお、上記金銭消費貸借契約書の締結に伴い、以下のとおり既存借入金の返済を実施いたしました。

## 既存借入金返済の概要

1. 借入先 株式会社西日本シティ銀行
2. 借入金額 145,000千円
3. 借入金利 0.9%
4. 借入実行日 2024年1月31日
4. 返済実行日 2024年7月31日

## (2) 投資有価証券の売却

当社は、2024年7月22日開催の取締役会決議に基づき、当社連結子会社の株式会社アンサー倶楽部において、次のとおり保有する投資有価証券の売却を実行し、投資有価証券売却益(特別利益)を計上しております。

## 1. 投資有価証券の売却理由

当社資産グループの財務体質強化、保有資産の効率化を図るためであります。

## 2. 投資有価証券の売却の内容

①売却株式銘柄	投資信託1銘柄
②売却日	2024年7月29日
③売却額	54,567千円
④投資有価証券売却益	23,667千円